

【礼拝賛美】「御名を掲げて」

(※↓★↓※↓★↓★の順で歌う)

※御名を掲げて あなたをたたえます

救いのために あなたは来られた

★救いの道を 与えに

天より降り 来られた

十字架により 命あがない

よみがえられた

【消息 報告】

・林眞光伝道師 明日4日(月)より6日(水)まで奥多摩バイブルシャレーで行われる小学生キャンプにカウンセラー奉仕者として参加します。

【本日の配布物】

・文書伝道ティ 案内

8/24に予定しています。今年も談話室で書籍等の販売があります。お楽しみに！

今年は戦後80年。報道や社会の動きの中で平和について考える機会が多くあります。この国と世界の平和を祈りつつ過ごしましょう。

No.18 2025・8・3

すべての聖徒たちのうちで最も小さな私に、この恵みが与えられたのは、キリストの測り知れない富を福音として異邦人に宣べ伝えるためであり、また、万物を創造した神のうちに世々隠されていた奥義の実現がどのようなものを、すべての人に明らかにするためです。これは、今、天上にある支配と權威に、教会を通して神のきわめて豊かな知恵が知らされるためであり、私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、永遠のご計画によるものです。

エペソ人への手紙 3章8～11節

パウロは自らを「すべての聖徒たちのうちで最も小さな私」(8)と自覚していました。パウロの手紙にはこれに似た表現が見られます。次の二つです。

Ⅰコリント15章9節「私は使徒の中では最も小さい者であり」。

Ⅰテモテ1章15節「私はその罪人のかしらです」。

これら3つの言葉を書簡が書かれた順に並べると、「使徒の中で最も小さい」(Ⅰコリント)↓「すべての聖徒たちのうちで最も小さい」(エペソ)↓「罪人のかしら」(Ⅰテモテ)となり、パウロが歳を重ねるごとに、自

分が神の前にかに小さい者であるかという自覚を深めた様子が分かります。

パウロは使徒たちや初代教会の聖徒たちのうちで、一番と言っているほどに福音宣教に身を尽くし、教会の建て上げに尽力した人でした。そのパウロが、神の前に自分の小ささを知り続けたということです。

3章に繰り返される「奥義おくぎ」(3, 4, 5)とは、キリストによる神の救いの計画のことです。神が長年にわたりその全貌を秘めた計画としたことから「奥義」と言われます。救われたパウロは、その後も奥義について理解を深めることで、キリストの救いがどんな

に恵み深く、神の憐みが言い尽くせないものであるかを知り続けました。

パウロは、神の恵みの大きさを知ること、自分が神の前に小さいということに自覚したのです。

そのような自覚が、彼の心を福音宣教と教会建設へと情熱を大きく燃やしました。小さく罪深い者を恵み深く扱ってくださいという感謝の故です。私たちは自分の小ささや弱さに気づく時に意気消沈しがちですが、そのような時にこそ、神の愛と恵みに感謝することを忘れないでいたいものです。そうすることで、小さく弱いからこそ神に仕える思いが奮い立たされるのです。主はそのような人々が集う教会を通してご自身の救いを世に現わします(10)。

罪の力は私たちの弱さを責めます。しかし、福音は弱く小さい私たちを勇気づけ、キリストのからだである教会の建て上げのために私たちを生かしてくださいなのです。(泰)

8月3日 聖日礼拝

小礼拝	9時〜	荻野牧師
聖日礼拝	11時〜	荻野と兄 高橋美姉
前奏		
招詞	マタイの福音書 11章 28節	
会衆賛美	聖歌501	
会衆賛美	たたえよ救い主イエスを 御名を掲げて(2回)	
主の祈り		
交読	詩篇67篇1〜7節 (旧約聖書 999頁)	
礼拝祈禱 使徒信条		
聖書朗読	エペソ人への手紙 3章1〜13節 (新約聖書 387頁)	
説教	教会を建て上げる人 荻野泰弘牧師	
聖餐	(小礼拝は礼拝後)	
会衆賛美	聖歌586	いかに汚れたる
献金		
頌栄	聖歌376	父御子御霊の
祝祷		
報告		
特別講演会案内		
感謝祈禱	奏樂	

【招詞(主の招きのことば)】

マタイの福音書 11章28節「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃	礼拝後
■小学校ホザナ礼拝	11時〜 3階 お話 林伝道師
■バイブルカフェ	お休み
■各会例会	
ミモザ会	礼拝堂
青年会	3階ホール
ダニエル会、オリーブ会メンバーは	
ミモザ、青年のいづれかにご参加を。	
■小学校キャンプ打ち合わせ	13時〜 オンライン
■霊修会実行委員会	16時〜 オンライン

※訂正 聖務表には荻野牧師 東京育成園奉仕とありますが、8月は育成園での奉仕はありません。

【本日の礼拝奉仕者】

■小礼拝・オンライン配信	
担当	荻野牧師
報告	荻野牧師
会場	
配信	配信チーム
■聖日礼拝	
礼拝祈禱	
聖書朗読	
献金1階	2階
献金祈禱	司会者
報告	荻野泰弘
会場	
受付	
パワポ	パワポチーム
聖餐	

【今週の予定】

7(木) 10時半〜 祈禱会

【次週の礼拝説教】 田中師

エペソ人への手紙2章1〜10節

【本日 各会例会】

＊ミモザ会 主催 場所：礼拝堂
「DVD上映会『神の沈黙』」
クリシタン弾圧と原爆の歴史をクリスト教の視点から語ります。少々重いテーマですが、この月だからこそ考えたいことですね。

＊青年会 主催 場所：3階
「祈禱会例会」

毎週木曜日に行っている蒲田シオンの祈禱会を体験します。教会の課題を共に祈り、お互いの課題や証しを分かち合い祈るとき。霊の交わりです。

ダニエル会、オリーブ会のメンバーは、どちらかに加わってください。

■第67回 霊修会

＊日程 10/12(日)夕〜13(月祝)
＊テーマ 「聖霊にゆだねて
〜神から来る〜」
＊会場 湘南国際村センター(葉山町)
＊講師 岩上祝仁師
(インマヌエル綜合伝道団 代表)
早割は締め切りましたが、まだまだ申し込みを絶賛受付中です！

【特別講演会】

4000名を看取った
クリスチャン医師が語る
「死を意識して生きる希望」
〜もしあと一年で
人生が終わるとしたら〜
日時 9月14日(日)
午後1時半〜3時半

高齢化が進む社会で、その現実には教会も例外ではなく、蒲田シオンの会員構成でも65歳以上の兄弟姉妹が多くを占めています。その年齢にある兄弟姉妹から、「老いをクリスチャンとしてどのように受け止めたらいのか」と問われることがあります。それで今年の教育部主催講演会のテーマとして取り上げ、このたび、クリスチャンの医師である講師を迎えることになりました。

看取り介護の現場に生きる講師の言葉は、老いをどう受け止めるかについての様々な示唆があります。それは、老いだけでなく私たち一人ひとりが抱える弱さについての慰めと励ましにも満ちています。
ぜひご参加ください！

《特別講演会 事前学び会》

日時 8月31日(日)午後1時半
会場 3階ホール

学び会の内容は、テーマに関する動画視聴と小グループでの分かち合いです。肩の力を抜いた語らいの場です。

【会堂清掃の形態変更について】

礼拝堂掲示板にて、週ごとに奉仕者を募ります。可能なところでご協力ください！
礼拝堂清掃、トイレ清掃などなど…。

日ごろの兄弟姉妹のご協力に感謝します。今後は、奉仕者を募る形で会堂清掃を行います。みんなで分担したいと思います。可能な範囲で奉仕日を決めて加わってください。主を礼拝するこの場所を清潔に保ちましょう。
礼拝堂掲示板にご記名を！

国内での最高気温が更新されるなど酷暑が続いています。健康に気を付けてお過ごしください。